



IAQG 2016年 冬のニュースレター

9100 : 2016 への移行が、規格の国際的な発行と共に、開始される

IAQG 9100 シリーズ規格は、航空宇宙品質マネジメントシステム (QMS) 要求事項を規定する国際的な航空、宇宙・防衛産業に対する規格です。ISO 9001:2015 年版との整合性の反映に加えて、主要なステークホルダーからのニーズを取りこんで製品安全、模倣品防止、認識、人的要因 (human factor) に関する要求事項を追加して、以下の国際規格が発行されております。

- 9100 ; 品質マネジメントシステム - 航空、宇宙及び防衛分野の組織に対する要求事項
- 9101 ; 品質マネジメントシステム - 航空、宇宙及び防衛分野の組織に対する審査要求事項
- 9110 ; 品質マネジメントシステム - 航空分野の整備組織に対する要求事項
- 9120 ; 品質マネジメントシステム - 航空、宇宙及び防衛分野の販売業者に対する要求事項

この他、残りの 9100 シリーズ規格である 9115 “航空、宇宙及び防衛分野の組織に対する要求事項 - 納入ソフトウェア”についても、2017年1月*の発行が予定されています。

IAQG 注*) ; 2017年1月末の状況は、AS/EN 9115の発行は2月中旬、SJAC 9115の発行は4月初旬になる見込みです。

AS/EN/JIS Q での認証の継続を望む全ての認証取得組織は、2016年版への認証移行が要求されています。IAQG は、品質マネジメントシステム展開支援文書を IAQG ホームページ ([public IAQG website](#)) 上に公開しています。AS/EN/JIS Q 9100 : 2016 展開支援文書 ([AS/EN/JISQ 9100:2016 deployment support material](#)) には以下の内容が含まれます。

- トレーニング用資料 ; [Executive Overview](#) 、 [Key Changes](#) (主な変更概要) *と [Clause-by-Clause](#) (箇条ごとの変更概要説明) *
- [Correlation Matrix](#) (9100 : 2009 規格 と 9100 : 2016 規格の対照表)
- [Transition implementation](#) (AS/EN/JIS Q 9100 : 2016 年版への移行に向けた段階的ガイドを含む移行実施戦略)

- ・ [Transition gap assessment matrix](#) (IAQG9100 : 2009v IAQG9100 : 2016(D9)一項目対照表)
 ＊[9100 : 2016 規格と 9100 : 2009 規格との対照表 (エクセルシート)]

JAQG 注*) ; 和訳版を JAQG メンバー専用ページに公開。

<http://www.sjac.or.jp/jagg/member/modules/smartsection/item.php?itemid=474>

IAQG Webinar (ウェブでのセミナー) が、AS/EN/JIS Q 9100 ; 2016 年版規格検討チームにより、規格の変更点と意図に関するユーザーの理解を助ける目的で準備されています。組織の皆様におかれましては最初に“9100 シリーズ規格主な変更概要”に参加し、その後詳細内容として“箇条ごとの変更概要説明”に参加することを推奨します。

- ・ [9100D:2016 Key Changes \(1 Hour\) - Overview of quality management principles, key changes in ISO 9001 and AS/EN/JISQ 9100, and high level summary of changes.](#)
- ・ [9100D:2016 Clause-by-Clause Review \(2 Hours\) - Clause-by-clause discussion of the key changes.](#)

その他の Webinar (ウェブでのセミナー) に関する情報はこちらまで。

[Additional information regarding key target dates, timetable and webinar scheduling.](#)

IAQG と Plexus International 社が、移行トレーニングを提供

業界による認証制度管理チーム (OPMT チーム) と Plexus International 社は、IAQG の指導の下、9100 : 2016 年版シリーズの移行期間を支援するため、移行トレーニングマテリアルの開発に協力してきました。各トレーニング開発パートナーは、既存の審査員が、SR003 に定められている移行要求に従い、改正された 9100/9110/9120/9101 規格の中で最新であり、精通していることを確実にするために活動しています。

トレーニングの内容は、Plexus International 社がオンライントレーニングプラットフォームにトレーニングマテリアルを計画したものに加え、OPMT チームと規格作成チーム代表の合意による結果です。

現在、国際的な利用を考慮し、複数の言語に翻訳されたマテリアルを用い、学習経験を模擬し、先行確認を行っています。

トレーニングスケジュールは以下の通りです。

モジュール	利用開始 (計画)
9100 オンライン 更新コンポーネント	2016 年 11 月 30 日
9110 オンライン 更新コンポーネント	2017 年 1 月 10 日
9120 オンライン 更新コンポーネント	2017 年 1 月 10 日

移行トレーニングの購入と完了プロセス

購入可能なトレーニングがリリースされた際、“通知と説明(インストラクション)”が **Online Aerospace Supplier information System(OASIS)**に掲載され、OASIS に登録されており各種認定されている審査員に対し E-メールが送付されます。

9100 オンラインモジュール購入後、**Aerospace Auditor Transition Training (AATT)**コースを既に完了している方々は、[IAQG Training](#) にアクセスし、2016 移行トレーニングを完了することになります。

9100 : 2016 の差分トレーニングを受講するには、ISO 9001:2015 事前評価に 80%以上のスコアで合格していることが必要です。トレーニング・モジュールの完了時に示される「合否判定を伴わない」レビュー結果(フィードバック)により、差分トレーニングで必要となる研修項目を強化することができます。レビューに含まれる情報により、9101 差分モジュールに移る前に実践的な評価(9101 研修後の試験)を成功裏に終了することにつながる機会となります。

トレーニング開発プロセスは人手に頼る作業であり、トレーニングのモジュールの開発、内容のレビュー、試行と翻訳レビュー活動は、本プロジェクトにボランティアとした参加した方々、我々のトレーニングモジュール開発パートナーである **Plexus International** 社の大変な努力と献身なしには成り立ちませんでした。

Webinar (ウェブでのセミナー) の機会は、9100 移行及び SCMH ガイダンスマテリアルを支援する。

9100 : 2016 への移行にあたって **Supply Chain Management Handbook(SCMH)**を通して、サプライチェーンと個人の知識を強化するための複数の機会が利用できます。リマインドになりますが、**SCMH** は、**IAQG** それぞれの項目に対する専門家たちが開発したベスト・プラクティスとガイダンスマテリアルを集めたもので、品質のパフォーマンスと改善を目的としたいろいろなトピックスに対してサプライチェーンの助けになるものです。

全ての **SCMH** マテリアルは、完成後、自由にアクセスすることが出来ます。

JAQG 注) SCMH マテリアルの英文は一般公開されています。JAQG ではメンバー向けに、SCMH 和訳版を公開しています。

<http://www.sjac.or.jp/jaqq/data/scmh.html>

2016 年の初めから、6つの文書が発行、更新されています。

- Product Entry into Service
- Compliance Education - Phase 2 Additional Guidance Templates
- Collection and Use of Shop Floor (Gemba) Input & Feedback

- Work Transfer Revision
- Project Management - Introduction
- Measurement System Analysis - MSA - Introduction

SCMH は、30 以上の異なるセクションと 100 以上の異なる文書により構成されます。

以下の追加セクションが、2016 年末又は 2017 年初頭の発行を目標に開発進められています。

- Product Safety Awareness
- APQP Guidance Revision

IAQG は無料の 1 時間の Webinar (ウェブでのセミナー) を定期的で開催しており、参加者には SCMH 資料に関する特別な情報を提供しています。これからの Webinar (ウェブでのセミナー) のスケジュールは、[Announcement page of the SCMH](#) に掲載されています。既に登録が御済の場合は、あなたの E-メールアドレスに Webinar (ウェブでのセミナー) の通知が寄せられます。

最近発行された AS/EN/JIS Q9100 規格の移行の手助けのため、新しい Webinar (ウェブでのセミナー) も移行計画を意識した構成になっています。これらの移行に係わる Webinar (ウェブでのセミナー) の開催を確認するため、[Announcement page of the SCMH](#) にアクセスしてください。

次世代 OASIS は 9100 : 2016 年版規格に対応

OASIS データベースは、IAQG ステークホルダーが最新の Industry Controlled Other Party (ICOP) 品質マネジメントシステム認証状況を確認することを目的としたデータベースです。ICOP 認証、組織構造、認定された航空宇宙審査員に係わる情報、及び審査結果がデータベースに保存されています。データベースは、機能の強化と、報告書作成、管理データベースとしての将来的な発展性を確保し更新されています。OASIS は業界のベスト・プラクティス・ツールであり、又、信頼できる ICOP 認証情報を機関とその顧客に提供するツールとして認知されています。

IAQG は、2016 年 12 月 3 日に更新され、より強化されたデータベースが利用可能となったことを、喜んで宣言します。この最初のリリースは全ての既存 OASIS の機能、現在発行されている ICOP 認証データ、及び下記の機能を含むことになります。

- 認証機関 (CB) が審査計画を立て審査員をアサインする
- 航空宇宙産業経験審査員は、航空、宇宙及び防衛産業分野のオンライン審査報告書様式に、全ての要求された 9101 品質マネジメントシステム-審査要求を記入する
- 発行、追跡、オンライン上での組織とのやりとり、審査チームリーダーの承認を含む、オンラインでの不適合管理

・“どのように使用するか”に着目し、とデータベースのユーザーの具体的な役割にリンクした、改善されたガイダンス文書

この強化された機能は、改定された 9100 : 2016 シリーズ品質マネジメント規格で行われる全ての審査に用いられることとなります。今後行われるすべての 9100 : 2009 年版での審査は、従来同様 pdf ファイルをアップロードする機能を用いることとなります。

プロジェクトの目的とスケジュールは IAQG ウェブサイト ([Detailed user guidance material](#)) に掲載されており閲覧可能です。ここをクリック [project objectives and schedule](#)

我々の目標は、次世代 OASIS に係わる情報を、我々のステークホルダーと継続的に共有することです。システムのローンチが近づき、益々コミュニケーションが活発になっています。IAQG OPMT は、ICOP 航空、宇宙及び防衛分野の品質マネジメントシステム認証スキームの継続的改善に取り組んでいます。

2016 年にリリースされるその他の規格

IAQG9100 シリーズ認証規格と同様に、品質、デリバリー、品質改善を通じたコスト削減に対するサプライ・チェーンの更なる改善のための規格を発行いたします。次の規格は、サプライ・チェーンがこの目的を達成する手助けするために 2016 年に発行した規格です。

9117 製品リリースにおける検証の委譲 ; SJAC 9117 規格発行済

組織の製品のリリースにおける検証が供給者に委譲されている場合の、航空、宇宙及び防衛産業のサプライ・チェーンにおける流出不適合のリスクを低減させるための標準的なプロセスを提供する。

9133 Qualification Procedure for Aerospace Standard Products ; SJAC 発行予定なし

航空、宇宙及び防衛産業の標準部品の製造を望む製造業者が認証当局 (CA) の指導の下、認証を取得するプロセスを定義する。

9136 根本原因分析及び問題解決 (仮題) ; JAQG で、SJAC 9136 規格作成中

根本原因分析と問題解決の活動を支援するために手法を標準化するもの。
すべてのレベルのサプライ・チェーンの組織が使用するための共通技法の確立は、行動計画が改善され及び組織と外部ステークホルダー(例えば、供給者、パートナー、顧客、規制機関)との間の情報交換の方法が標準化されることになる。

9145 先行製品品質計画 (APQP) /生産部品承認プロセス (PPAP) に関する要求事項 (仮題) ; JAQG で SJAC 9145 規格作成中

この規格は、先行製品品質計画 (APQP) 及び生産部品承認プロセス (PPAP) についての航空、宇宙及び

防衛プロセス要求事項を定義するために作成された。本規格の APQP の章では、航空、宇宙及び防衛産業全体に採用されている製品開発プロセスが、コンセプト及び設計から製造、プロセス、計画及び実施、さらに製品の使用、サービス、顧客からのフィードバックに及ぶ全体に統一された段階的プロセスとすることを確実にする方法を定義している。PPAP は、顧客要求レートで全ての要求事項を常に満たす製品を生産できる可能性を示す製造プロセスの確認をする APQP のアウトプットである。

9162 作業者による自主確認プログラム ; JAQG で SJAC 9162 規格作成中

この文書は、航空、宇宙及び防衛産業における「作業者による自主確認」の手順を可能な範囲で標準化することに焦点を置いたもの。共通の手順を確立することにより、品質及び安全性の向上、コスト削減、組織特有の要求事項の削除、又は減少をもたらすことが出来る。

これらの規格の出版物は、規格発行団体又は予約購読サービスを通して入手可能です。

IAQG 表彰

IAQG メンバー会社は、航空宇宙品質規格の制定と他の IAQG の重要な活動を行う戦力です。2016 年 IAQG マイアミ会議において、メンバー会社とメンバー会社のために参加している個人が、IAQG に大きな経験と知識をもたらし、我々の産業界のため、規格の制定に貢献していることが認められました。表彰は以下のカテゴリーで与えられます。

- ・規格チーム表彰 ([Writing Team Awards](#)) ; 業界規格を作成するチームのメンバーであり、そのかけがえのない貢献が認められた者が対象
- ・10年/15年参加表彰 ([10 & 15 Years of Service Award](#)) ; 国際航空宇宙品質の発展へのサポートと献身が評価され認められた者が対象
- ・メンバー表彰 ([Member Awards](#)) ; 国際航空宇宙品質の発展へのサポートと献身が IAQG リーダーに認められた者が対象

10月のIAQG会議でのハイライト

2016年10月10日の週、IAQGメンバーが、彼らのプロジェクトとチーム活動を進展させるために参集しました。各WGと総会の出席者は200名超に達しました。本会議の焦点は、9100:2016年版シリーズへの移行と、移行を開始するために要求される移行トレーニングです。

IAQG会長のBill Schmiege氏(Parker Hannifin社)がアメリカ、アジア・太平洋、ヨーロッパの各セクターリーダーを確認し、総会の開催を宣言しました。

- ・AAQGセクターリーダー ; Milt Jacocks氏 (Lockheed Martin)
- ・APAQGセクターリーダー ; 北森 直樹氏 (川崎重工業)

・ EAQG セクターリーダー ; Andy Maher 氏 (BAE Systems)

Bill Schmiede 氏は更に、IAQG は「航空、宇宙及び防衛産業分野での品質マネジメントシステムにおいて継続的にリーダーシップを取り続けなければならない」ことを強調し、出席者に喚起しました。又、各メンバー会社は「我々は、非効率なプロセスを改善し、より機敏にステークホルダーに対する責任を果たすために、我々のステークホルダーのニーズに留意しなければならない」ことを付け加えました。

アジェンダの項目には、各種プロジェクトの進捗状況、特に最近リリースされた規格の更新状況に焦点を当てた説明、又出席者からの質問と規格作成チームとのパネルディスカッション等がありました。また、OPMT により、移行トレーニング、移行期限、次世代 OASIS リリースに関する更新情報が説明されました。

Bill Schmiede 氏は、メンバーに対する大変な努力と IAQG 活動が順調に行われていることへの感謝の言葉をもって総会の閉幕を宣言しました。

JAQG 注) 会議の様子を、SJAC 会報に掲載しています。

<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/201612/20161209.pdf>

APAQG のハイライト 新メンバー会社

アジア地域での航空、宇宙及び防衛産業の活動は、特に MRO（整備、修理、及びオーバーホール）分野において活況を増してきています。APAQG は、この拡大している市場において、一方で市場の拡大に伴う潜在的なリスクを管理しつつ、サプライ・チェーンとメンバー加盟国の拡大促進と支援にあたってきました。

2016 年 2 月、インドのバンガロール市で、IAQG/APAQG 活動促進のため、インド・ロード・ショー・イベントが開催されました。多くの参加者が IAQG/APAQG 活動に興味を示し、イベントの一つの大きな成果としてインドのメンバーが APAQG 活動に新たに加わるようになったことが上げられます。インドはアジア・太平洋地区で 9100 認証取得組織数が第 3 位の国です。APAQG は現在、アジア・太平洋地区での主要な航空、宇宙及び防衛産業企業をメンバーに揃えており、品質規格（例えば AS9100 シリーズ規格）、ガイダンス資料、ICOP、ベスト・プラクティスや品質のトレンド等、航空、宇宙及び防衛産業のグローバル企業から直接得られる情報を共有することで、APAQG メンバーと新メンバーに対する便宜を図っています。インドのメンバーは、APAQG メンバーとして、IAQG の規格改正作業に貢献するでしょう。そしてそれは地域内において品質向上活動をリードしていく上で計り知れない強みになるでしょう。

APAQG と新インドメンバーは、品質改善活動に関する情報の共有を通して、インドの他の航空、宇宙及び

防衛産業会社との関係構築にともに取り組みことになるでしょう。

JAQG 注) 会議の様子を、SJAC 会報に掲載しています。

<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/201610/20161007>

AAQG の新メンバー会社

2016年9月ノースカロライナ州シャーロットで開催された AAQG 会議において、PCC Aerostructures 社が新たに、IAQG アメリカセクターの投票権を有するメンバーとして認められました。PCC Aerostructures 社は、複合金属部品、クリティカル部品、航空宇宙アプリケーション製造に係わる世界的メーカーである Precision Castparts Corporation 社の一部門です。製造クラスターが北アメリカ、ヨーロッパとアジアに縦割りのように統合されて広がっているため、PCC Aerostructures 社は顧客のニーズを満たすため、広範囲かつ多角的視点に立った解決方法を提案することができます。

カンザス州ウィチタに拠点を置く Harold Finch 氏が、PCC Aerostructures 社を代表し、AAQG 投票メンバー代表となります。

Finch 氏は、「AAQG の新メンバーとなることで、我々の同士、顧客、監督機関と共に働き、今日の航空宇宙業界の問題を明らかにし解決手段に導く機会を我々PCC に与えられました。更に、議論に参加し投票権を付与されることで、我々自身のためだけではなく究極的には我々の顧客満足のためになることですが、産業界のレベルを引き上げる手助けをするためにより広い品質コミュニティを利用すると同時に、PCC は我々の品質プロフェッショナルを教育する機会を与えていただきました。この増大し続ける産業界で、あなた方は解決手段を提供する側であることも、後ろに控えていることもできるのです。PCC に限って言えば、我々は解決手段を提供する側になりたいと考えています。」と語りました。

AAQG は、PCC Aerostructures 社を歓迎し、航空宇宙製造とサービスにおけるバリュー・ストリームを通して、更なる改善に協力して取り組んでゆくことを楽しみにしています。

EAQG 新リーダーの選出

EAQG は最近、BAE Systems 社の Andy Maher 氏を、Airbus 社の Antonio Padin 氏の後任の EAQG セクターリーダーとして選出しました。10月のIAQG総会の間、Andy Maher氏は、EAQGの発展に対するAntonio氏のリーダーシップを称えました。更に、Andy Maher氏は、Antonio Padin氏が、「IAQGに関わっている約3年の間、IAQGに係わる人々の度量と才能に驚くことばかりでした。」と語ったと伝えていきます。これは、IAQGが国際的な品質規格認証システムを提供するために、過去20年間にわたって成熟してきたボランティア主導の機関であることを考えると、とても重要なことです。Andy Maher氏は更に、「今ここからは、我々がステークホルダー（具体的には、航空、防衛、宇宙の当局、メンバー会社である我々自身、我々のサプライ・チェーンのこと）と活発に情報交換を確実に行うことと同様に、IAQGを最も効果的

に、又効率的に運営するために本当に重要な時期です。」と述べました。

アメリカでの主要な表彰

2016年9月13日～14日にノースカロライナ州シャーロットで開催された AAQG 総会において、2つの重要な表彰が授与されました。AAQG メンバーシップを代表して、現 AAQG チェアマンの Milt Jacocks 氏が、現 IAQG 会長の Bill Schmiege 氏の前 AAQG チェアマンとしての顕著なリーダーシップと貢献に対し表彰を行いました。

Donald Buehler 氏 (Export Solution 社の社長であり、以前は GE Aviation 勤務) が、今年の Mike Gallagher 賞の受賞者に選ばれました。

AAQG リーダーシップ・チームは、Mike Gallagher 氏への追憶と、彼が航空、宇宙及び防衛産業に与えた巨大な足跡を顕彰するため、Mike Gallagher 賞を制定しました。この賞は、我々の産業界へのユニークかつ顕著な貢献をした個人に授与されます。

Buehler 氏は、彼の貢献の重要性、産業界への影響力、統率力への評価、組織の目的を達成するための深い関与を認められ、彼の仲間の推薦により受賞者に選ばれました。

これまでの AAQG Mike Gallagher 賞受賞者

- ・ 2015年 Dale Gordon 氏 (ANAB)
- ・ 2014年 Tim Lee 氏 (The Boeing Company)
- ・ 2013年 Colin Clark 氏 (Bombardier)
- ・ 2012年 Richard J. Downs 氏 (Textron Aviation)
- ・ 2011年 Michael C. Roberts 氏 (The Boeing Company)

掲載。 (<http://www.sjac.or.jp/jaqq/member/modules/smartsection/item.php?itemid=474>)